

# 2024年度環境経営レポート

有限会社 朝日鍍金工場

発行日 2025年4月16日

活動期間2024年1月1日～12月31日

《ご挨拶》

経営の中に環境活動を取り入れたエコアクション21を取得して16年が経過しました。この間、社員全員にエコアクション21の意識が浸透し、成果は確実に上がってきています。幾多の経済危機や新型コロナウイルス感染症など、厳しい経営環境に直面しましたが、何とか売り上げを伸ばすことができました。

とくに2024年度については、創立以来最高となる売り上げ、経常利益を達成しました。めっき同業者の廃業がすすみ、それによる受注の増大、また、この数年の積極的な設備投資が功を奏した結果と言っていると思います。

売り上げが増えるなかでも電気、ガス、水使用量や亜鉛金属、めっき薬品などの原材料費の抑制は目標に近いところで抑えられています。

この状況を継続できるよう引き続きご指導を賜りますようお願いいたします。

有限会社 朝日鍍金工場

代表取締役 遠藤 清孝



新22ライン



《目次》

I 環境経営方針

II 事業概要

III EA21推進体制

IV 環境目標とその実績 2024年度

V 環境経営目標 2024年度 2025年度 2026年度

VI 環境活動の問題点と是正処置 2024年度

VII 環境関連法規制の遵守状況

VIII 代表者による全体評価と見直し結果

# I 環境経営方針

朝日鍍金工場は、地球環境保全の重要性を認識したうえで  
良いめっき製品づくりに徹しお客様に喜んでもらうことを基本理念  
とし社会が豊かで幸せになるために未来に向かって環境尊重  
企業をめざします。

1. 当社は、めっき加工の生産活動において環境に与える影響  
を考慮して、環境目標を設定し、環境マネジメントシステムを  
構築し、継続的改善を図ります。
2. 環境に関する法規制を遵守し汚染の予防に努めます。
3. 環境負荷の少ない生産工程の構築に努め省エネルギー、節水  
、省資源・リサイクル促進による廃棄物の低減、及び化学物質  
の適正管理と低減を図ります。
4. 環境保全活動に関する社内教育を行い、周知徹底し、環境  
に関する意識向上を図ります。
5. この環境方針は要求により社外に公表します。

2009 年 1 月 1 日

有限会社 朝日鍍金工場  
代表取締役 遠藤清孝

## Ⅱ 事業概要

(1) 事業所名 有限会社朝日鍍金工場

(2) 代表者名 遠藤 清孝

(3) 所在地

本社 〒132-0025 東京都江戸川区松江4-20-11  
第2工場 〒132-0025 東京都江戸川区松江4-3-14  
倉庫 〒132-0025 東京都江戸川区松江4-26-19

(4) 環境管理責任者指名及び担当者連絡先

|          |       |       |
|----------|-------|-------|
| ・推進責任者   | 代表取締役 | 遠藤清孝  |
| ・環境管理責任者 | 常務    | 遠藤典夫  |
| ・推進委員長   | 工場長   | 保土田浩章 |
| ・推進副委員長  | 3ライン長 | 関口洋平  |
|          | 営業業務  | 松宮英介  |
| ・推進事務委員  |       | 加藤秋子  |

・連絡先

TEL 03-3653-3431

FAX 03-3652-2225

E-mail [endok1@sepia.ocn.ne.jp](mailto:endok1@sepia.ocn.ne.jp)

HP-URL <http://www.asahi-mex.co.jp>

(5) 事業活動内容(認証登録範囲)

- ・電気亜鉛めっき加工
- ・溶融亜鉛めっき加工

(6) 事業規模

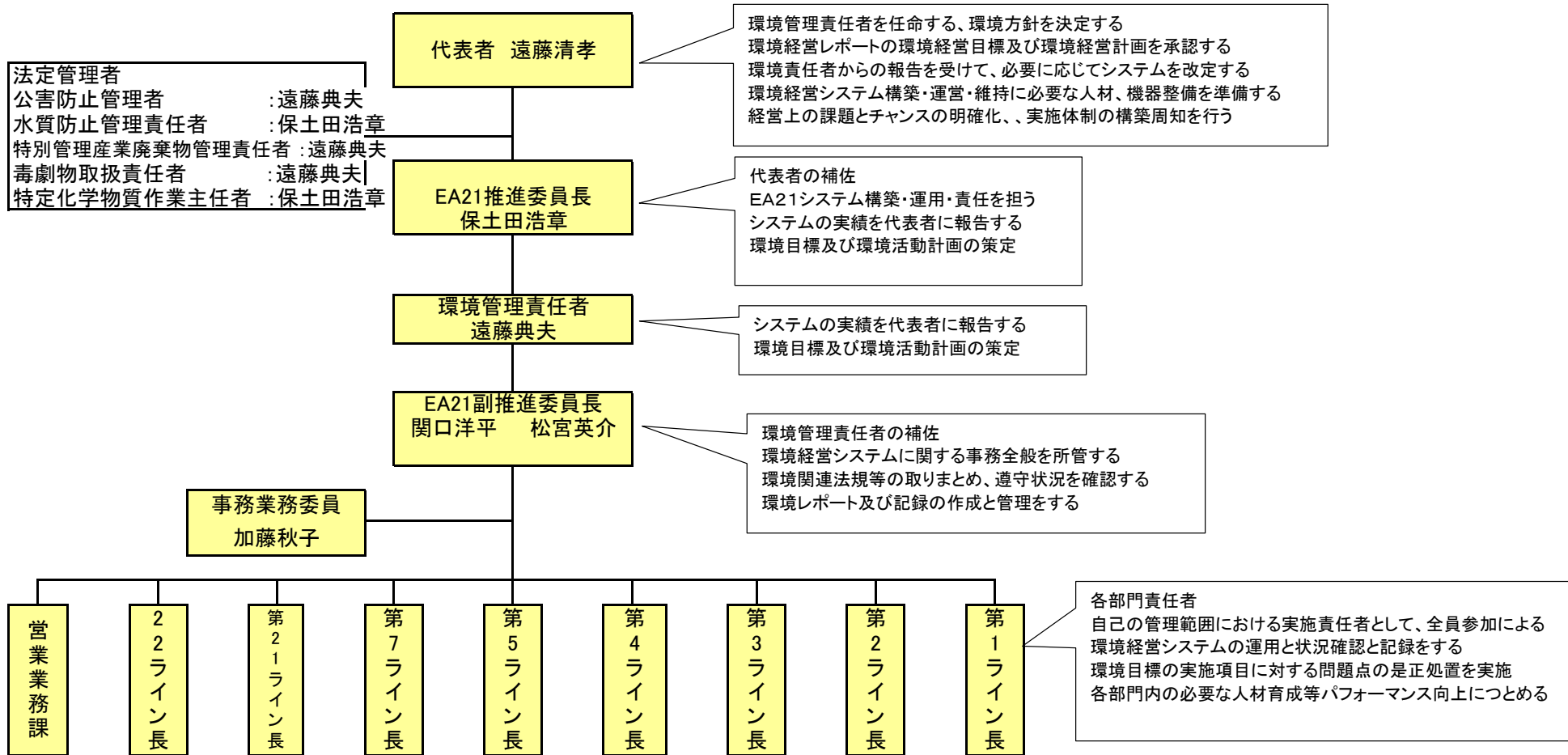
- ・設立 1960年(昭和35年)
- ・出資金 3600万円

|       | 単位             | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
|-------|----------------|-------|-------|-------|
| 売上高   | 百万円            | 777   | 811   | 843   |
| 従業員数  | 人              | 55    | 55    | 55    |
| 作業場面積 | m <sup>2</sup> | 3000  | 3000  | 3600  |

(7) 事業年度 1月~12月

# Ⅲ EcoAction21推進体制 有限会社 朝日鍍金工場 環境組織図

2024年1月1日



※営業業務課及び各ライン長を持って推進委員会とする

全従業員 55名

## IV 環境経営目標とその実績 2024年度

### (環境負荷実績と環境目標比較)

前年2023年度(1/1~12/31)を基準年とし環境負荷数を算出し、2024年度目標値と実績値より検証を行う。2024年度の目標は2023年度の実績値を加味してたてる。

#### 1. 主な環境目標と環境負荷・実績

##### <主な環境目標>

| 項目        | 単位     | 2023年度<br>実績値 | 2024年度<br>目標値 | 目標削減率 |  |
|-----------|--------|---------------|---------------|-------|--|
| CO2総排出量   | kg-CO2 | 1,319,205     | 1,373,292     | 4.00% |  |
| 電気使用料金    | (千円)   | 37,313        | 37,317        | ±0    |  |
| 都市ガス使用料金  | (千円)   | 29,983        | 32,982        | 10%   |  |
| 灯油使用料金    | (千円)   | 1,016         | 1,016         | ±0    |  |
| ガソリン使用料金  | (千円)   | 666           | 666           | ±0    |  |
| 軽油使用料金    | (千円)   | 2,066         | 2,066         | ±0    |  |
| LPGガス使用料金 | (千円)   | 1,443         | 1,443         | ±0    |  |
| 水資源使用料金   | (千円)   | 17,527        | 17,527        | ±0    |  |
| 産業廃棄物排出量  | t      | 338.4         | 338.4         | ±0    |  |
| 一般廃棄物排出量  | t      | 17.8          | 17.8          | ±0    |  |

\*2022年の電力の排出係数は0.376とする

##### <実績値>

【評価】○:達成 ×:未達成

| 項目        | 単位     | 2024年度<br>目標値 | 2024年度<br>実績値 | 削減率    | 評価 |
|-----------|--------|---------------|---------------|--------|----|
| CO2総排出量   | kg-CO2 | 1,373,292     | 1,221,970     | 11.1%減 | ○  |
| 電気使用料金    | (千円)   | 37,317        | 35,457        | 5.0%減  | ○  |
| 都市ガス使用料金  | (千円)   | 32,982        | 30,342        | 8.0%減  | ○  |
| 灯油使用料金    | (千円)   | 1,016         | 1,048         | 3.1%増  | ×  |
| ガソリン使用料金  | (千円)   | 666           | 615           | 7.7%減  | ○  |
| 軽油使用料金    | (千円)   | 2,066         | 1,883         | 8.9%減  | ○  |
| LPGガス使用料金 | (千円)   | 1,443         | 1,454         | 0.1%増  | ×  |
| 水資源使用料金   | (千円)   | 17,527        | 16,396        | 6.5%減  | ○  |
| 産業廃棄物排出量  | t      | 338.4         | 279.6         | 17.4%減 | ○  |
| 一般廃棄物排出量  | t      | 17.8          | 15.5          | 13.0%増 | ×  |

\*2022年の電力の排出係数は0.376とする

|            |    | 23年実績値 | 24年実績値 | 削減率    | 評価 |
|------------|----|--------|--------|--------|----|
| めっき不良再めっき品 | 金額 | 4574千円 | 3034千円 | 33.7%減 | ○  |

\*2009年度より再めっき品のデータを作成する

##### 【評価】

基準年を前年の2023年として目標値を設定した。2021年より使用料金を重視し各項目でCO2 排出量とともに金額ベースで算出している。売上げの増加、経費の削減を進め、利益の向上を目指す取り組みとしてより明確にした。  
 ただ、ロシアのウクライナ侵攻などの影響によりエネルギー価格が高騰し、今現在も高いレベルで推移しており使用料金は増加している。  
 めっき単価の値上げ交渉をすすめ、売り上げ増につなげ、このコスト高にしっかり対応していきたい。  
 課題の一つである使用薬品削減の取り組みは、めっき工程において、水切り時間を増やし、液の持ち出しを少なくすることにより、薬品使用量を抑えたい。  
 売り上げが増加しているなか、2024年の目標値は増減なしとした。(現状を目標とした)今年度は、新設備導入を進めながら各項目で目標を達成するようように取り組みたい。

# V 環境経営目標

作成日2024年4月1日

代表取締役遠藤清孝

| 環境方針<br>キーワード    | 環境目標項目            | 基準値<br>(2021年度)         |                              | 年度毎目標・達成手段  |   |   |
|------------------|-------------------|-------------------------|------------------------------|---|---|---|
|                  |                   |                         |                              | 2024年度  | 2025年度  | 2026年度  |
| 二酸化炭素排出量削減       | 電力の二酸化炭素排出量削減     | 615,298kg-CO2           | 目標                           | 21年 10%増 (676,872kg-CO2)                              | 21年 10%増 (676,872kg-CO2)                                | 21年 10%増 (676,872kg-CO2)                              |
|                  |                   |                         | 達成手段                         | 事務所、食堂、更衣室の蛍光灯を順次省エネタイプ(設置率50%)<br>電気ヒーターをやめボイラーヒーターへ | 事務所、食堂、更衣室の蛍光灯を順次省エネタイプ(設置率50%)<br>電気ヒーターをやめボイラーヒーターへ   | 事務所、食堂、更衣室の蛍光灯を順次省エネタイプ(設置率50%)<br>電気ヒーターをやめボイラーヒーターへ |
|                  | 都市ガスの二酸化炭素排出量削減   | 652,095kg-CO2           | 目標                           | 21年 10%増 (717,304kg-CO2)                              | 21年 10%増 (717,304kg-CO2)                                | 21年 実績値 (586,885kg-CO2)                               |
|                  |                   |                         | 達成手段                         | 蒸気配管の漏れなどのチェック<br>各槽の設定温度の見直し<br>1ライン1ボイラーの効果の推進      | 蒸気配管の漏れなどのチェック<br>脱脂の温度設定を下げる脱脂薬品検討<br>溶融亜鉛メッキラインの廃止の検討 | 蒸気配管の漏れなどのチェック<br>脱脂槽の温度設定を下げる<br>溶融亜鉛めっきラインの廃止       |
|                  | 灯油の二酸化炭素排出量削減     | 12,150kg-CO2            | 達成手段                         | 21年実績値 (12,150kg-CO2)                                 | 21年実績値 (12,150kg-CO2)                                   | 21年実績値 (12,150kg-CO2)                                 |
|                  | ガソリンの二酸化炭素排出量削減   | 11,815kg-CO2            | 達成手段                         | 21年実績値 (11,815kg-CO2)                                 | 21年実績値 (11,815kg-CO2)                                   | 21年実績値 (11,815kg-CO2)                                 |
|                  |                   |                         | 目標                           | 21年実績値 (11,815kg-CO2)                                 | 21年実績値 (11,815kg-CO2)                                   | 21年実績値 (11,815kg-CO2)                                 |
| 軽油の二酸化炭素排出量削減    | 55,081kg-CO2      | 達成手段                    | 21年実績値 (55,081kg-CO2)        | 21年実績値 (55,081kg-CO2)                                 | 21年実績値 (55,081kg-CO2)                                   |   |
|                  |                   | 目標                      | 21年実績値 (55,081kg-CO2)        | 21年実績値 (55,081kg-CO2)                                 | 21年実績値 (55,081kg-CO2)                                   |   |
| LPGガスの二酸化炭素排出量削減 | 23,259kg-CO2      | 達成手段                    | 21年実績値 (23,259kg-CO2)        | 21年実績値 (23,259kg-CO2)                                 | 21年 10%減 (20,933kg-CO2)                                 |   |
|                  |                   | 目標                      | 21年実績値 (23,259kg-CO2)        | 21年実績値 (23,259kg-CO2)                                 | 21年 10%減 (20,933kg-CO2)                                 |   |
| 節水               | 水資源投入量の削減         | 合計 36,876m <sup>3</sup> | 目標                           | 21年10%増 (40,563m <sup>3</sup> ) *合計                   | 21年10%増 (40,563m <sup>3</sup> ) *合計                     | 21年実績値 (36,876m <sup>3</sup> ) *合計                    |
|                  |                   |                         | 達成手段                         | 各水洗水の適正使用<br>各ラインでの水の再利用を検討する。                        | 各水洗水の適正使用<br>各ラインでの水の再利用を検討する。<br>溶融亜鉛メッキラインの廃止の検討      | 各水洗水の適正使用<br>各ラインでの水の再利用を検討する。<br>溶融亜鉛メッキラインの廃止       |
| 廃棄物の削減           | 産業廃棄物の削減(化学物質の削減) | 392.5t                  | 目標                           | 21年実績値 (392.5t)                                       | 21年実績値 (392.5t)   | 21年実績値 (392.5t)                                       |
|                  | 達成手段              | スラッジの含水率を低くする           | スラッジの含水率を低くする                | スラッジの含水率を低くする   | スラッジの含水率を低くする   |   |
| 一般廃棄物の削減         | 16.7t             | 目標                      | 21年実績値 (16.7t)               | 21年実績値 (16.7t)  | 21年実績値 (16.7t)  |   |
|                  |                   | 達成手段                    | 梱包資材の見直し<br>精度の高いデータを基に活動の促進 | 梱包資材の見直し<br>精度の高いデータを基に活動の促進                          | 梱包資材の見直し<br>精度の高いデータを基に活動の促進                            |   |
| 低率不減の良           | めっき製品不良率の低減       | 再鍍金品めっき代 1,563千円        | 目標                           | 不良率 10%減  | 不良率 10%減  | 不良率 10%減  |
|                  |                   |                         | 達成手段                         | 不良原因の究明とQC活動の推進<br>不良治具の新規更新                          | 不良原因の究明とQC活動の推進<br>不良治具の新規更新                            | 不良原因の究明とQC活動の推進<br>不良治具の新規更新                          |
|                  | グリーン購入            |                         | CO2削減対応薬品の使用                 | CO2削減対応薬品の使用  | CO2削減対応薬品の使用  |   |
|                  | 環境にやさしいめっき製品      | 有害化学物質の削減               | 6価から3価クロメートへお客様へ提案           | 6価から3価クロメートへお客様へ提案                                    | 6価から3価クロメートへお客様へ提案                                      |   |

## VI 環境活動の計画と評価 2024年度

有限会社朝日鍍金工場

|  |  | 電気使用量の削減<br>23年度実績値を目標  | 評価  |
|--|--|---|---|
| 二酸化炭素の削減   | [実施事項]<br>・事務所、食堂の空調温度の設定見直し(夏28℃、冬20℃)<br>・事務所、食堂に温度計を設置し室内温度を把握する<br>・事務所、食堂、更衣室、作業場の蛍光灯を順次省エネタイプに変えてゆく(HF型)<br>・作業場の水銀灯をLED照明に変えていく<br>・作業場において不要な照明の消灯の徹底<br>・エレベーターの一人乗り禁止<br>・めっき整流器の小型化を進める。1槽1電源を進める。<br>・溶融亜鉛メッキラインの廃止検討。 |   | 工場内照明を水銀灯からLED照明への切替をさらに進める。<br>大型ディスプレイのデマンドメータ表示の最大需要電力目標値を410 KWとする。<br>生産ラインの廃止はそのまま使用量減につながる。<br><br>【評価】○ |
|  |  | 都市ガス使用量の削減<br>23年度比10%増を目標  | 評価  |
|  | [実施事項]<br>・脱脂、湯洗の設定温度の見直し(第1、第7ライン設定温度60℃→55℃)<br>・蒸気配管保温材チェック(保温カバーのない箇所)<br>・天気の良い日は、自然乾燥を多用する。<br>・脱水機ガスバーナーの燃焼時間を短くする。<br>・高温タイプの脱脂剤から低温タイプの脱脂剤への検討をする<br>・溶融亜鉛メッキラインの廃止検討。  |   | 溶融ラインの生産量が増え、ガスの使用量が増加した。<br>脱脂剤を高温タイプから低温タイプへの切り替えはおおきな効果が見込める。<br><br>【評価】○                                   |
|  |  | LPG、灯油、ガソリン、軽油使用量の削減<br>23年度比 灯油±0 ガソリン±0 軽油±0 LPG±0                          | 評価  |
| [実施事項]<br>・効率のよい配送計画<br>・遠方便(埼玉羽生)(新潟長岡)を顧客便でお願いをする。<br>・フォークリフトの効率的運転(LPG使用、5台のフォークの連係)<br>・フォークリフトの減車を検討する。(5台→4台)<br>・顧客営業訪問を車ではなく交通機関の利用を心がける<br>・LPG、ガソリン、軽油使用量をグラフ化して食堂に掲示し啓蒙をはかる。 |  | ガソリン、軽油の使用量の減少は大いに評価できる。<br>第2工場から倉庫へのフォークリフトの行き来を減らし、1台の減車を目指す。<br><br>【評価】△ |   |
| 節水   |  | 水資源使用量の削減<br>23年度実績値を目標   | 評価  |
|  | [実施事項]<br>・第4ラインの水の再利用を進める。<br>・他ラインも水の再利用を検討する。<br>・水切りを改善し、水洗槽への持ち込みを減少させる。<br>・水洗水のシャワー化をすすめる。<br>・めっきの水切り時間を長くし、水洗槽への持ち込みを減らす。<br>・新第3ラインが稼働を始めるため今後水の使用量は増える。<br>・溶融亜鉛メッキラインの廃止の検討。   |   | 仕事量が増えれば、使用量も増加する。<br>今後も水洗槽への持ち込みを減少させる為、水切りを多くできるよう改善していく。<br>めっきのシャワー水洗の多様化を引き続き進める<br><br>【評価】○             |

|  |   |  |
|--|---|--|
| 廃棄物の削減   | 産業廃棄物の削減<br>23年度の実績値  | 評価   |
|  | <p>[実施事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スラッジ汚泥を廃棄ではなく、再生(亜鉛回収)を進める。</li> <li>・脱脂槽に油水分離装置を設置し油を回収し脱脂液のライフを延ばす。また、発生した油をこまめにとる。</li> <li>・フィルタープレスを単式タイプから複式タイプに入れ換え汚泥の含水率を下げる。</li> <li>・塩酸のライフを伸ばすためインヒビターを添加する。</li> </ul> | <p>仕事量が増えている為スラッジも増加した。品質維持のため廃アルカリが増えている。21ラインめっき槽のヘドロ取りを行い廃シアンが増えている。インヒビターの効果がでており、廃酸が減少している</p> <p>【評価】○</p> |
| 不良率の低減   | 一般廃棄物の削減<br>23年度実績を目標   | 評価   |
|  | <p>[実施事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カタログや資料は本当に必要なもの以外は受け取らない</li> <li>・裏紙の使用</li> <li>・木製パレットの破損に注意し廃棄を減らす</li> <li>・廃棄物の数量データを精度の高いものにしていく。</li> </ul>  | <p>精度の高いデータより現状を把握し、削減に努める。</p> <p>【評価】○</p>   |
| グリーン購入   | めっき不良率の低減<br>23年度の10%減目標  | 評価   |
|  | <p>[実施事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製品の取り扱いに注意する</li> <li>・めっきのやり直しがでた場合は生産日報に記入しそのデータから不良率を把握する。(再めっき品のデータの精度を高めるため、書き漏れのないようにする)</li> <li>・薬品の濃度管理を徹底する</li> <li>・マイクロスコープや膜厚測定器による解析を基に、改善案を検討していく。</li> </ul>       | <p>懸案であったトラック部品の再めっきが減少していることは大いに評価できる。前処理である脱脂液の濃度、温度管理をしっかりと行う。</p> <p>【評価】○</p>                               |
| 製品サービスの環境配慮  | 再生紙以外も検討する。<br>排水負荷低減薬品の使用を検討する。  | 評価   |
|  | <p>[実施事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再生紙100%使用</li> <li>・CO2削減対応薬品の使用(ユケン メタSFZ-300M/GR)</li> </ul>  | <p>【評価】○</p>   |
| 次年度  | 製品サービスの環境配慮   | 評価   |
|  | <p>[実施事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6価から3価クロメートへお客様への提案</li> <li>・大量受注の可能性がある再生クランプのカラー化を進める。</li> </ul>  | <p>顧客の要望を把握して当社の理念であるお客様に喜んでもらえるような対応をする。</p> <p>【評価】○</p>   |
| 次年度の取組内容   |   |  |
| <p>エコアクション21を認証取得して16年が経過した。2023年も引き続き受注量は多く、高い水準で推移している。同業者の廃業により今後も受注の増加はおおいに見込める。亜鉛金属、苛性ソーダや塩酸など薬品類が大幅に値上がりしている。さらに電気料金やガス料金の値上げが大きく、コストは大幅に増えており、めっき単価の値上げは必須な状況になっている。有害薬品(シアン)の使用量削減の取り組みについては21ラインのめっき槽25000L 1槽を減らすことによりシアンの使用量削減とともにリスクの軽減にもつながっている。また、スラッジの含水率を低下させるための高性能フィルタープレス導入の効果が始めている。今年も取り組みの成果が出ているので社員全員にエコアクション21成果協力金を配る。社員の励みとなり、さらに取り組みに対する意識を高めてほしい。</p> |   |  |

| VII環境関連法規制の遵守状況                    |                         |   | 確認             | 作成者                        |
|------------------------------------|-------------------------|---|----------------|----------------------------|
| 見直し日：2024. 4. 1 遵守確認日：2024. 12. 12 |                         |   | 遠藤             | 保土田                        |
| 区分                                 | 名称                      | 義務事項  | 該当設備物質等        | 遵守評価                       |
| 組織                                 | 特定工場における公害防止組織の整備に関する法律 | ・公害防止統括者の選任と届出<br>・公害防止管理者の選任と届出  |                | ○                          |
| 大気                                 | 大気汚染防止法                 | ・ばい煙発生施設設置（変更）の届出<br>・ばい煙量、ばい煙濃度の測定<br>・事故時の措置届出  |                | —                          |
|                                    | フロン排出抑制法                | ・簡易点検の実施 フロン破壊証明書   |                | ○                          |
| 水質                                 | （水質汚濁防止法）               | ・特定施設設置（変更）の届出  | 特定施設           | ○                          |
|                                    | 下水道法                    | ・排水濃度の測定・記録・事故時の措置届出  |                | ○                          |
| 土壌                                 | 土壌汚染対策法                 | ・有害特定施設の廃止時の土壌調査  | シアン等           | —                          |
| 廃棄物                                | 廃棄物処理法                  | ・廃棄物置場の保管基準の順守  | 汚泥             | ○                          |
|                                    |                         | ・産業廃棄物の委託契約の締結  | 廃酸             | ○                          |
|                                    |                         | ・特管産廃管理責任者の選任と届出  | 廃アルカリ          | ○                          |
|                                    |                         | ・特管産廃多量排出事業者届出  |                | ○                          |
|                                    |                         | ・産業廃棄物マニフェストを収集運搬／処分委託業者へ交付し回収する  | 廃プラスチック        | ○                          |
|                                    |                         | ・マニフェスト発行実績の報告  |                | ○                          |
|                                    |                         | ・廃蛍光管類適正保管および処理   | 水銀製品廃棄物        | ○                          |
| リサイクル                              | 家電リサイクル法                | ・買替、廃棄等業者引渡し時リサイクル料の支払  | エアコン<br>テレビ    | ○<br>○                     |
| 化学物質                               | 労働安全衛生法                 | ・安全管理者の選任・届出<br>・衛生管理者の選任・届出<br>・労働安全衛生委員会の開催   | 50人以上          | ○<br>○<br>○                |
|                                    | 特定化学物質障害予防規則            | ・特化物の取扱所での掲示<br>・特化物を取扱う作業員への教育<br>・特化物作業主任者の選任<br>・局所排気装置の定期自主点検の実施<br>・作業環境測定の実施<br>・特殊健康診断の実施・報告 | シアン<br>クロム     | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ |
|                                    | 毒物及び劇物取締法               | ・業務上取扱者の届出<br>・毒物劇物取扱責任者の選任<br>・盗難／漏洩防止・容器への表示<br>・保管施設への表示   | シアン<br>クロム     | ○<br>○<br>○<br>○           |
|                                    | P R T R 法               | ・指定化学物質の排出量及び移動量の把握<br>・排出量及び移動量の届出<br>・SDSの常備  | 20人以上<br>1トン以上 | ○<br>○<br>○                |
| 地方条例                               | 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例   | ・工場設置（変更）の許可<br>・公害防止責任者の選任<br>・適正管理化学物質の使用量等の報告  | 装置<br>廃棄物      | ○<br>○<br>○                |
| 地方条例                               | 東京都下水道条例                | ・特定施設設置（変更）の届出<br>・排水濃度の測定・記録・事故時の措置届   | 特定施設           | ○<br>○                     |
| PCB                                | PCB特別措置法                | ・廃棄の届出  | PCBコンデンサ       | ○                          |

関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありません。また、近隣からの苦情はありません。

令和7年4月11日

## Ⅷ 代表者による全体評価と見直し結果

有限会社 朝日鍍金工場

代表取締役 遠藤清孝

エコアクション21を取得して16年が経過しました。活動の成果を求めるだけでなく、まずは社員全員で取り組むことに意義があるとの思いでスタートしました。社員それぞれがセクションごとに自分たちの出来るところから取り組みをはじめ、会社としてもこれまでに経験のない年月を重ねてきています。結果を過度に追求せず社員それぞれが、エネルギーの無駄を省いていこう、会社を変革していこうという意識が芽生えたことは会社の将来にとっても、本当に良かったことと思っています。さらにその意識を高めていくために今年も社長の私から感謝の気持ちを込めて些少ではありますがエコアクション21成果協力金を全社員に支給しました。

2024年も近隣のめっき工場の廃業が相次ぎ、その分の仕事が当社に回り受注は豊富な状態が続きました。2021年12月には新第3バレルラインが稼働しており、小物に対しての引き合いも多く、この設備を生かすためにもしっかりと受注につなげていきたいと思えます。電気、ガスなどのエネルギー価格や水道料金の高騰はめっき業界にとって大変深刻なことです。亜鉛金属やめっき薬品類などの値上げも相次ぎ、コストの上昇は大きな課題になっています。このような状況のなか、めっき単価の値上げは必須となっており、23年秋より顧客個別に値上げ交渉を進めています。しかし、なかには値上げを認めてもらえず難航しているところもあります。当社の窮状をしっかりと伝え、単価の値上げを認めていただかなくてはなりません。認めてもらえないところは仕事をお断りするくらいの強い気持ちで臨むことが必要になっていると感じています。また、このエコアクション21活動レポートをホームページに開示し、広く社外にアピールしていきたいと思えます。環境規制では亜鉛、ホウ素、ふっ素など暫定的に頂いている排水基準値が改正されました。亜鉛めっき業者として最も大きな課題の一つである亜鉛の暫定基準値が5PPMから4PPMに変更になりましたが、めっき業でいただいている2PPMの暫定基準は、今後ははずされることが予想されます。しっかりと対応していきたいと思えます。この数年は、近隣地域で一戸建て住宅が増え、騒音、振動など地域環境への配慮など難問は山積していますが、エコアクション21の活動に取り組みながら少しでもいい方向に進んでいけたらと思っています。エコアクション21の活動は会社の経営にとってもプラス面が多く、今やなくてはならないほどの必要性を感じるまでに進化しています。引き続き、経営トップである私自身が先頭に立って、このエコアクション21の取り組みを力強く推し進めていきたいと考えています。